



水辺で一斉乾杯は2015年  
から国土交通省が企画する  
社会実験企画です

最も身近ないつもの水辺を創造的にイメージする人が増えると  
知らなかった地域の魅力がきっと見つかる。

この計画は、そこにある水辺を粹に静かに楽しんでみる風流な実験です。  
水辺に数人が集い、日常の風景を少し変えてみるシンプルなプログラムです。  
夏の夕暮れの水辺に人が集うと、どんな感じがするかをシェアしてみましょう。

飲み物を1本持って天の川へ集合！

# 水 辺 で 乾 杯 2016

マチを巻き込め。



筑波大学キャンパス

天の川で乾杯！

(午後6時45分に橋の上に集合)

7月7日午後7時7分  
世界同時乾杯

1万人がタナバタイムに乾杯すれば  
日本の水辺はちょっといい感じ！

7月は河川愛護月間です

## 筑波大学 天の川の由来

筑波大学の2学エリア（人文・生物など）は女性が多く、3学エリア（工学・情報など）は男性が多いことからそれを隔てる川が、夜空の天の川伝説に似ていることからいつ頃からか筑波大生の間で呼ばれるようになったと言われています。

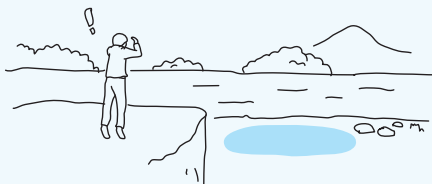




## 水辺で乾杯アクション5カ条

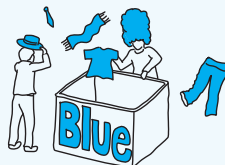
1

事前に水辺を感じられる、  
それっぽい場所を選んでおきましょう。



2

青い物を身につけるなどの粋な趣向が  
それなりの一体感を作ります。



3

お気に入りの一品を持って水辺に集まる  
不思議な感を味わいましょう。



4

長居はせず滞在は30分程度として、  
原状回復し速やかに退去しましょう。



5

そのまま帰るのは淋しいので、  
場所を変えて飲むのもいいでしょう。



乾杯写真を投稿して全国とつながりましょう。

当日、WEBサイトでみなさんの  
乾杯の写真が投稿できます。

<https://mizcan.mizbering.jp/>



### ミズベリング・プロジェクトとは

かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。

ミズベリングは「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。

水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、  
新しい賑わいを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。